

読む人の幸せを心に願って作る

# 喜びのタネまき新聞

No.  
620

〈A Iにできないことを〉

昨今、A I(人工知能)やロボット化、自動化などの記事をよく目にします。身近なところでは、セルフレジやキャッシュレス決済などもその一部ですが、このような社会環境の中、ダスキンでは今年の指針を、あえて「A Iにできないことを。」としました。

ダスキンは、創業時からランチャイズ展開によって事業を推進してきました。加盟店創業者は、その地域で生まれ育った方が多く、地域で愛される店づくりをしています。そして、お店で働くスタッフや、ダスキンをご利用くださるお客様もその地域の方々です。そう考えると、これから更にA Iが進んでも、私たちは、A Iにはできない「人と人とのつながり」を大切にしていきたいと思います。

先日、出張した際に、列車の切符を購入するために駅の窓口を利用しました。駅員さんは、私が乗車する列車の前後の出発時刻と、席の混み具合まで教えてくれました。私から尋ねたわけではないのですが、きつと表情や様子などから察してくれたのでしょうか。これこそ「A Iにできないこと」だと思います。

会話をしながら、何かお役に立てることはないかと考えるのは大切なこと。これは能力ではなく、考える気持ちがあるかどうかです。ぜひ私も実行してみようと思います。



## 滋賀県

### 海津大崎の桜

※イラストはイメージです

株式会社ダスキン社長

## 山村輝治



びんに閉じ込めた  
町の宝物

# びん細工手まり



直径約12センチの手まりが主流で、大きさはさまざま。今では、新築や結婚祝いの贈り物にも



華やかな色と落ち着いた色、それぞれの魅力がある



愛知川びん細工手まり保存会会長の辻みよ子さん



町の片隅には、びん細工手まりの形をした郵便ポストも



桜で有名な愛荘町の公園。手まりには桜模様も多い

## 手仕事の町で生まれ、 復活した工芸品

真ん丸いガラスびんの中に、その口より大きく色鮮やかな手まりが入った「びん細工手まり」。手まりが伝わる地域は全国各地にあります。びんの中でころころと手まりが揺れる不思議な形はとても珍しく、滋賀県の愛荘町で大切に受け継がれている工芸品です。古いものでは江戸時代に作られたものが現存しており、丸く(円満)中がよく(仲良く)見える縁起物として、近江商人の家から嫁ぐ女性の嫁

が上がり、再び制作するために「愛知川びん細工手まり保存会」が結成されたのです。

発足当初から携わってきた辻みよさんは「既存の作品と、ひろさんが作る様子を見ていた旦那さんの記憶だけが頼りだった」と当時を振り返ります。手間と根気がいる手仕事を再現するのは至難の業でしたが、復活を願う町民のために何度も試作を重ね、今日まで伝えてきました。

## 町の皆で個性豊かに 作り続けて伝えていく

現在も、保存会は町民のみが参加できる形で伝統技術を守り継いでいます。そのため、年1回のみ開かれる町外の人向けの講習会は、全国から応募が殺到するほどの人気です。

目で愛でて楽しいびん細工手まりですが、作る楽しさはそれ以上なのだとか。手まりは色や模様には制約がないため、基本とされる菊の花や幾何学模様の他、キャラクターなど新しい柄も生まれています。また、同じ模様でも色の組み合わせで見栄えが異なるため、作り手の個性が光ります。

ある日の保存会に何うと、膝を交えて「その色、素敵」「次は新しい模様を」とお喋りに花を咲かせながら針を動かす方々の姿がありました。ある方は「手まりがびんに入っているなんて、最初は驚きました！びんの中で光

入り道具の一つだったと伝わっています。

かつて愛知川と呼ばれたこの町では、昔から近江上布や近江刺繍などの手仕事が発達しました。また、裁縫ができて当たり前の時代、娘たちが通う裁縫塾でびん細工手まりを教えることもあったそうです。秘伝としてごく少数の者にしか伝えられなかったため、時代とともに作り手が減り、最後の一人といわれた青木ひろさんが他界した時には、継承者がいなくなる危機に面しました。しかし「貴重な技術を途絶えさせてはいけない」と声

が反射して、手まりが美しさを増すのが面白いの」と言い、別の方は「刺し進めるごとに模様が立体的になり、完成が楽しみでワクワクする。ずっとできるほど奥深い」と笑顔を見せます。各々が作品作りに没頭するそばで、辻さんは「自分の作ったものは大切にしたい」と優しく教えています。「一度なくなりがけたからこそ、一つひとつが宝物。皆で復活させたから、今後とも皆で作りたいし、そのために作り続ける場所を町に残したい」と、自身が作った桜のびん細工手まりを撫でながら話してくれました。

町の人々が守り、大切に作り続けてきたびん細工手まり。かつて愛知川の娘たちが裁縫塾に集って手習った時のように、今後も楽しいお喋りとともにひと針ひと針に命が注がれ、びんの中できらきらと輝きを放つことでしょう。

びん細工手まりのふるさと  
滋賀県愛知郡愛荘町

江戸時代には彦根城下に近い中山道の宿場町として栄えた。古くから近江上布や近江刺繍など染織文化が育まれ、暮らしの中で手仕事を受け継がれてきた町

# 台所の相談室

食卓の品数を増やしたい、でも食材は余らせたくない。その2つのお悩みを丸ごと解決するヒントが旬食材にありました。

## FILE 4

硬い外葉と柔らかな内葉、部位別のおいしさを生かして。



### ひだかずを 飛田和緒さん

料理家。1964年、東京都生まれ。四季折々の家庭料理や保存食を基本に、独自のアイデアレシピが人気。ベストセラー『常備菜』(主婦と生活社)を始め、著書多数。

しっかり煮るのがコツ。キャベツの芯からもいい出汁が出るので、味付けはシンプルに。最初からスープの素などは入れずに、キャベツとベーコンの旨みを引き出してから、味を調べてください。コールスローは、やや太めの千切りでOK。もちろんスライサーなどの便利な道具を使ってもいいです。冷蔵庫で保存し、サンドイッチの具や、朝食のたまご料理の付け合わせにも、とても合います。

確かに食材を買い揃えるのは大変ですよ。案外、冷蔵庫にいろいろあると何を作ろうかと迷ってしまうことも多いです。素材は1つ2つに絞って、そこから何ができるかを工夫した方が、料理が楽しくなるような気がします。

この季節なら、丸ごと1個の春キャベツから2〜3品を作るのはいかがでしょう。硬めの外葉はロールキャベツに、内側の柔らかな葉はコールスローサラダや浅漬けなどに。時間がある時、一度に作っておけば数日おかずに困りません。

ロールキャベツはブロックベーコンを具にして包み、煮込むだけです。肉だねの下ごしらえがない分、手軽で、時間にも気持ちにも余裕ができます。煮崩れないように、鍋に隙間なく詰めたら、とろとろになるくらいまで



## Answer Recipe



### ベーコンのロールキャベツ

#### 作り方

- 1 キャベツの葉を破れないように剥がし、丁寧に1枚ずつ茹でる。
- 2 芯の部分を切り出す。葉を2枚重ねて、ベーコンと切り出した芯をのせて、両端を包み込みながらきつめに巻く。
- 3 鍋に巻き終わりを下にして詰めて並べ、隙間にキャベツの芯を入れて、昆布出汁を加える。
- 4 蓋をして30分ほど煮て、味をみて塩で調える。

#### 作り方

- 1 キャベツと人参と紫玉ネギは、塩を軽く揉み込んで15分ほどおく。
- 2 水気が出たら軽く絞り、ハム、缶汁をきったホールコーン、レモン汁、こしょうを合わせて和え、オリーブオイルを混ぜる。

※塩はキャベツと人参の重さの2%が目安

#### 材料(2〜3人分)

- キャベツの葉 ……12枚
- ブロックベーコン ……20g×6個
- 塩 ……適宜
- 昆布出汁 ……1と1/2〜2カップ

### コールスローサラダ

#### 材料(2〜3人分)

- キャベツ(千切り) ……約1/3個
- 人参(千切り) ……1/2本
- 紫玉ネギ(スライス) ……1/8個
- 塩 ……適宜
- ハム(細切り) ……2〜3枚
- ホールコーン缶 ……60g
- レモン汁 ……1/2個分
- こしょう ……少し
- オリーブオイル ……大さじ2〜3

#### 材料(2〜3人分)

### ひとま

キャベツは芯の周辺に切り込みを入れ、葉と葉の間に水を流せば、水の重みで葉が破けずに剥がせます。葉が入り組んでいて剥がれない時は、大胆に丸ごと茹でるのも一手。ただ、内側の葉にも火が通るので、からし和えや胡麻和え、梅和えなど和え物にするのがおすすめです。



### 台所のお悩み事をお寄せください。

お料理について気になることや、ちょっとした悩みを、飛田さんに相談してみませんか? お便りをお待ちしています。宛先は裏表紙をご覧ください。



### 夫婦でお花見

鳥取県鳥取市 石差 栄子さん



毎年、夫婦でお花見に出かけているのですが、どうしても2人で出かける時間がとれませんでした。「やっぱり弁当を持って花見がしたいなあ」と、咳く主人の隣でふと窓の外を見ると、目の前にある公園の桜が綺麗に咲いています。さらに我が家の庭でも、チューリップやパンジー、水仙が花盛り。そこで急ぎよ、庭でお花見をすることに決めました。

ちようどお昼前だったので、大急ぎでお弁当作り。主人も「やったことないなあ」と言いながら、梅干のおにぎりを握ってくれました。

庭にシートを敷き、飲み物、お菓子も並べて準備完了。主人が握った野球ボールのように大きなおにぎりを頬張りながら、たまには「こっいっのも良いなあ」と思ったお花見でした。

「自宅でお花見なんて、素敵！お弁当も一層、おいしそうです。」

### 泣くのを卒業したね

長野県諏訪市 伊藤 祐三さん



毎朝、私は小学生の登校の見守りをしています。昨年は、新1年生が2人仲間入りしました。そのうち1人の女の子が、入学間もない頃からわんわんと泣いてしまっています。

お母さんが付き添ってくれても、「大丈夫だよ、元気を出して」とランドセルの後ろをポンポンと叩いて励まして、泣き止みません。毎日、心配そうに寄り添う友だちと一緒に、頑張っつて通いました。

そんな泣き虫だった子も、2年生になった今では友だちとハイタッチをしに駆け寄ってきてくれます。

成長した姿を見られて良かった。今日も見守っていますからね、元気に行っつらっしやい。

見守りのおかげで、立派な成長！次は新入生を励ましてくれそうですね。

### 孫の成長

神奈川県大和市 野口 眞子さん



女の子の孫が小学校を卒業して、中学校の制服を着た写真がメールで届きました。体も大きくなって、今では私の身長も超えています。2人の息子を育ててきた私にとって、女の子の成長は楽しみでたまりません。

将来、孫が成人する日を見るために、これからも頑張っつて元気に過っつていきたいと思います。

「入学おめでとう」ございます。将来、成人の日も楽しみですね。

### 菜の花便り

大分県別府市 小宮 幸子さん



早春の暖かい日、孫2人と一緒に小高い丘に登りました。ぼっん、ぼっんと咲いている菜の花を見つけて、孫たちは大はしゃぎ。お兄ちゃん「持つて帰っつて庭中を花畑にする」と言っつて引っこ抜き、妹も負けじと小さな手で摘んでいきます。いい匂い、と顔を寄せ合いながら香りも楽しみました。孫たちはさすがにちよつと疲れたよつうで、帰り道では足元にまとわりついできました。が、「もう少し頑張っつろつうね」と励ましながつら皆で手をつないで帰りました。

皆で遊んだ思い出と、手の温もり。ずつと忘れられませんが。

### 巣立っつて良かった

兵庫県養父市 藤岡 弘子さん



ハナミズキの剪定をしていたら、パイパイと小鳥の音がやけに騒がしく聞こえてきました。鳴き声の先に目をやると、小さな巣を発見。中を覗けば、5羽のひな鳥がいました。きつと親鳥は、ひな鳥を守ろつと必死だったのでしよう。

「人間がひな鳥や巣に触ると、親鳥は子育てをしなくなる」と、どこかで聞いたことがあります。でもせめて巣が落ちてしまわないよつうにと、洗濯ばさみで枝と葉の間に巣を固定してあげました。

その後、様子を見てみると、2羽の親鳥がエサを運んでいたの、ホッとして安心。今では親子で並んで電線に止まっつています。

無事に成長して良かったです。今も元気に空を飛んでるはず。

### 春の火の用心

秋田県鹿角市 浅石 悦子さん



窓を開けて、春風を感じる気持ちの良い季節になりました。その日も窓を開けていると、冷蔵庫にマグネットで貼っていた紙が風で落ちてしまいました。その中には、毎年出初式でいただくお札があり、火の用心を呼びかける言葉を読み返していると、また風が吹いたのです。

お札が飛んでいった先は、冷蔵庫のまん前のガス台！火こそついでいませんでしたが、危なかつたと安全な場所へ貼り直しました。これも火の用心の呼びかけだったのかもしれない。

春風が教えてくれた盲点。火の用心は、いつも大切ですね。

### 燈々無尽

### ころんだら起きなさい

人に打ち明けられぬ苦しみ  
人にわかつてもらえぬ苦しみがある。  
死んだら、その苦しみがなくなるか？

——といった時、思いきり  
大きく息をすつてから  
フツツと強くイキをはく事だ！  
これでイキ返るのだ。

苦しみとは別の事を考えろ！  
世間は広い。  
キット幸福になる事を考えろ！  
世の中はきびしい。しかし、  
ころんだら起き上がることだ！

ダスキン創業者 鈴木清一

### 愛の輪通信



ダスキン障害者リーダー育成海外研修派遣事業  
第29期研修修了生 吉田沙矢香さん  
(視覚障がい・滋賀県立図書館勤務)  
英国・米国での研修で  
目標が見つかり、  
今につながっています！

いのある方もおられ、スタッフの皆さんは一人ひとりに応じた方法で「コミュニケーションをとつていました。」「彼女はね、うれしい時にとても素敵な笑顔を見せてくれた。」「彼女がね、うれしい時にとても素敵な笑顔を見せてくれた。」「彼女がね、うれしい時にとても素敵な笑顔を見せてくれた。」「彼女がね、うれしい時にとても素敵な笑顔を見せてくれた。」

愛の輪研修で得たこつうした  
貴重な経験は、今の私の仕事  
や活動につながっています。



愛の輪は、日本とアジアの地域社会のリーダーを目指す障がいのある若者に、海外での研修活動を行っています。

このコーナーについてはダスキン愛の輪基金まで。  
☎06-6821-5270 <https://www.ainowa.jp/>





あなたのお便りや写真をお寄せください。

皆様から送りいただいたお話をもとに新聞を作っています。どうぞ、あなたが体験したうれしかったこと、誰かに聞いてもらいたいことなど、身近な話題をお寄せください。

送り先

〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33  
株式会社ダスキン広報部  
ダスキン「喜びのタネまき新聞」編集室  
e-mail: koho4@mail.duskin.co.jp

投稿には、お名前、ご年齢、ご職業、ご住所、お電話番号、現在ご利用のダスキンの店名をお忘れなく。

- 紙面やホームページで紹介させていただいた原稿や写真には、ささやかなお礼品をお送り致します。
- お送りいただいた作品は、必ずご紹介できるとは限りません。また、作品のご返却は致しかねますのであらかじめご了承ください。

誕生日にお花見!



東京都  
江戸川区  
石田  
里枝さん



読者の皆様から送りいただいた  
素敵な1枚をご紹介します。

お花の香りにうっとり



愛知県  
豊田市  
吉田  
沙依さん

笑顔も満開!



神奈川県横浜市  
鈴木 恵美子さん

桜と太陽の塔を鑑賞



大阪府  
豊中市  
石井  
幸子さん

立派なたけのこ収穫!



香川県  
普通寺市  
萩原  
恵美子さん

綺麗な桜、うれしいな!



岡山県倉敷市  
牧山 朋恵さん

No.419からのバックナンバーが下記の  
アドレスからご覧になれます。

<https://www.duskin.co.jp/tanemaki/>



引越しのおそうじでも  
使えるダスキンモップ  
ぜひご利用ください!

引越しのお手続きは、担当店もしくは、



ダスキン  
コンタクトセンター

0120-100100 まで

株式会社 **ダスキン**

発行・編集：広報部 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様の個人情報はご投稿の掲載や、今後の紙面制作に利用させていただきます。なお、お預かりした個人情報はダスキングループと加盟店の範囲内で利用させていただきます。配送業務等で個人情報を外部企業に委託する場合は、弊社の厳正な管理の下で実施します。個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、下記の株式会社ダスキン コンタクトセンターまでご連絡ください。

**0120-100100** [www.duskin.co.jp](http://www.duskin.co.jp)

59-1C 2020.4 3577500